

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行／総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail:info@g.jyuji.or.jp
印刷／岳麓印刷株式会社

2013
No.202

(聖句) 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



2013年 7月 夏の外出「河口湖ハーブフェスティバル」
障害者地域活動支援センター くろっちょ

イルド

理事長 平井 章

「イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。」から、「私たちも隣人のために命を捨てよう」と決意して、長谷川保ら五人の青年は資金を出し合い洗濯業を開業しながら、神の召命を待ちました。神は、世の中で一番恐れられ、嫌われていた結核の人への働きを彼らに与えました。聖隷の「隣人愛」の歴史の始まりです。

「人は、知らぬ間に、自分がされたように、人になっている」という言葉があります。いじめ、虐待の体験を根に持っている、知らぬ間に同じようにしてしまうと言うのです。逆に、多くの人に助けられ、愛されてきた体験を持つと、人を愛することが出来ます。「自分を愛するように(しか)隣人を愛する(ことはできない)」のかも知れません。

聖隷歴史資料館に行って、聖隷グループの創立の歴史に触れてみてください。

顔を合わせて共に築く福祉

御殿場十字の園施設長 宮島 克利

介護保険制度が始まって、早一三年目、間もなく当初想定していた二〇一五年を迎えようとしています。その年の高齢者のあるべき姿を目標に、介護保険の計画が三年ごとに見直しされ、今はその計画の最終期間にあります。そして、同時にさらに十年後の二〇二五年を見据え、介護保険制度の見直しの議論もなされています。

二〇一五年とは、いわゆる「団塊の世代」といわれる人たちすべてが六五歳以上となる年で、二〇二五年は、その世代人たちがすべて七五歳以上となる年です。平成二五年版高齢社会白書によると、六五歳以上の方が占める高齢化率の上昇だけでなく、七五歳以上の方の占める割合も増加し、昨年の十一・九パーセントから二〇二五年には十八パーセント以上になると予測されています。介護保険が始まった年は

七パーセント程度であったことからすると随分と変わってくることを思います。直接利用者お一人お一人と関わる私たちにとって、あまり実感としてわかないところではありますが、制度の見直しはそうした背景や財源の問題を踏まえてなされていて、無視できない課題です。

そこで、特に介護サービスの増加の大きい通所介護を通し、今後のあり方等を考えてみました。通所介護について期待されることとして、五年ほど前に法人内の研修（十字の園大会）で発表のため担当者がまとめた資料があります。

それによると通所介護への期待（目標）で最も多いのは体力や筋力、歩行、口腔など身体機能の維持向上で、全体の四割近く占めています。そして、次に多いのが他者との交流といった社会心理的支持で三割ほどを占めます。このこと

こんにちは！はじめまして！



二階 山田 汐見
介護職

今年、裾野高校を卒業しました、山田汐見と申します。趣味はバスケットボール、絵を描く事、漫画を読むことです。住んでいる場所は裾野市です。

十字の園で働き始めて、まだまだ不安は多いですが、毎日笑顔で自分らしく一生懸命頑張ります！

笑顔で！



三階 鈴木 花奈
介護職

四月から勤めさせて頂くことになりました。

笑顔で頑張りますので、宜しくお願いします。

新入職員紹介

二年目に向けて



デイサービスセンター 理学療法士 小川 広昭

周りのの方々に支えられながらの一年間でした。皆様のお役に立てるよう自己研鑽に励んでいきたいと思えます。

地域に根ざして



デイサービスセンター 介護職兼生活相談員 大石 隼

明るい笑顔と優しい態度で利用者様に接し、地域に根ざした福祉を实践していくことができるように頑張ります。

は、今も通所介護に期待されることであると思います。そして、その達成のためには、お一人お一人の「意欲」や「楽しみ」が大切で、その為に自ら選択できる、興味関心を持てる、多様なプログラムを提供することなどがあげられています。それはこれからも大切なポイントです。現に日々、職員が様々な創作やレクリエーションを考案され、また、機能訓練メニューの充実も図り、取り組んでいて、とても感謝しています。

と実際には、ご家族の負担や考え方などに影響を受けるところが依然大きいことを思います。

今年の三月から、当施設では在宅で介護をされている方同士がお互いの交流を図り、また、介護などについて学び合う機会として、「御殿場十字の園絆の会(在宅家族介護者教室)」を発足致しました。是非、「気軽に参加できる」ことを心がけ、続けていきたいと思っております。

先日、牧師であり、北九州ホームレス支援機構の理事長でもあります奥田知志氏の講演を聞く機会がありました。その中で、「絆(きずな)には傷(きず)を含む」というお話がありました。とても重たく、覚悟を必要とすることを思います。傷をも含む声を汲み取り、向き合っていく。私一人では難しいことですが、職員と一緒に利用者の方はもちろん、ご家族やそして地域の様々な方たちと、顔を合わせ、通所介護に限らず、これからの福祉を共に築いていけたらと思います。

赤い羽根共同募金 助成事業

「障害者地域活動支援センター環境向上整備事業」でテラスを設置していただきました。

障害者地域活動支援センター 武藤 繁生



赤い羽根の補助金を受けて、長年渴望していたテラスを設置することが出来ました。私たち障害者地域活動支援センターは御殿場十字の園の西端にあり屋外への開口は西面のみです。そのため日中日差しを得ることが出来ず冬期には太陽光による暖気を得ることができません。



ん。また南北面の解放窓を持たないために夏季の換気・外気導入が難しい環境に苛まれてきました。

テラスの設置工事は四月下旬く五月の初春に開始されました。今年の春は名ばかりで寒さに身を震わせることが多いように思えましたが、設置途中にもかかわらずポリカーボネートの屋根に春の日差しを受けると温室効果を生じて、暖気が屋内に入ってくるのを皆が確かに肌で感じる事が出来ました。雨期には、屋根に受ける雨音を聞きながらテラスに身を置けば、人工的な

蛍光灯の明かりではない確かな昼の明るさに包まれて、十三平方メートルのドライエリアで梅雨を楽しむという心の余裕を得られたことに喜びを感じました。そしてこの夏は、解放された開口部から風を巻き込んで、屋内へと取り込んでくれています。

冬は暖かさを、夏は流れる風を、雨の日には雨音の嬉しさを、晴れた日には太陽のありがたさ・明るさを、私たちが忘れかけていた事象をあらためて教えてくれたことに感謝をこめて、赤い羽根のロゴをテラスに掲げさせていただきますました。



《青空の下で》

お弁当ランチ

すみれ
小見山千明

今回のお出かけのテーマは「青空の下でお弁当ランチ」。前日までの雨雲も何処へやら、当日は快晴に恵まれました。緑の木陰で、お待ちかねのお弁当タイム。イロトリドリ幕の内弁当にふわふわトコロトコロの親子丼。どれから食べようかなあつて迷い箸も、今日はご愛嬌です。腹ごなしにお散歩した後は、新緑の御殿場。箱根を車窓から満喫。きれいなね、ほらあつてこに芦ノ湖が…と、大騒ぎの中、咲き誇る藤の花を見て「あれがブドウだったらいいのね」って花より団子？ ちゃっかりソフトクリームも平らげて、すみれ珍道中でした。



《@小田原》

ちどり
猪越美穂

小田原城に行ってきました。途中、「小田原食堂」で昼食を食べました。皆いつもよりも食が進んでいらつしゃいました。小田原城では、男性は甲冑、女性は色打掛の「コスプレ」をしました。藤色の打掛を着た方は「綺麗な色ね」と気分も姫のようでした。全員大変お似合いました。様々な花が綺麗に咲き、陽気も良く、おいしいごはんも食べることができ、楽しんでいただけ良かったです。



《沼津で釣り》

ひばり
風張 智

六月二十三日ドライブ外出で沼津に釣りに出掛けました。天気も良く台風の後で波が荒れてないか心配でしたが穏やかでした。竿を持ってもらい魚がかかると自分で釣り上げていました。笑顔で喜んでいました。



《ジヨナサン》

かなりあ
芹澤和江

六月五日、天気の良い日にジヨナサンへお茶をしに出かけました。

注文したパフエを一口食べる利用者の皆様も笑顔がこぼれ、「甘くて美味しい！」とおっしゃりながら召し上がっておられました。「また来たいね。」と笑顔もおなかもいっぱいでお店を後にしました。



《山中湖》

ひまわり
天野繭香

「五月晴れのち、山中湖畔の店でほうとう鍋を食べたのが嬉しかった。でも一番嬉しかったのが、山中湖バックに一人で立って写真撮ってもらった事だなぁ」と言っていたのが印象に残りました。



ケアハウス

御殿場アドナイ館

宇佐見 昌彦

『危険を安全に体験』という出前講座!!

交通安全講座

今年の四月に静岡県くらし・環境部くらし交通安全課より、珍しい出前形式での交通安全体験先募集というファックスを頂き、早速に月一回の入居者の方との親睦会にと希望を出しました。五月の当日にやって来られたのは、「歩行環境シミュレータ」という県内でも台数限定の機材を一杯に積み込んだ車とやさしい女性二人。てきぱきと機材のセッティングをされ、高齢者への分かり易さと楽しい手遊びを交えながら、「止まる」「見る」「待つ」の三つの標語が横断歩道の道路横断には大切という例を挙げながら交通安全についてのお話のあと、三面スクリーンを使つての横断体験を十名程の方にして頂きました。皆さんの感想では、「思ったより早く車が近づいてくる」「夕暮れと昼間では距離の感覚が全く違う」等体験して初めて分かるとの感想がしきりでした。安全課のお二人に感謝です。



また春のお花見・夏の夕涼みや園遊会では、入所されている方々の介助・移動のお手伝いをさせていただいております。四季折々の行事に参加させていただいて、季節の移り変わりを感ぜながら楽しくボランティアをさせていただきます。ありがとうございます。

これからもできる限りお手伝いをさせていただきます。と思っております。



『福祉グループ』

〈ボランティア紹介〉

御殿場婦人会



御殿場十字の園 平成24年度決算報告

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	81,835
現金預金	129,384	固定負債	173,691
未収金他	120,929	負債の部合計	255,526
流動資産計	250,313	総資産の部	
固定資産		基本金	175,413
土地	379,297	国庫補助金等特別積立金	430,013
建物	541,647	その他の積立金	65,500
その他の固定資産	89,562	次期繰越活動差額	334,367
		(内当期活動収支差額)	(4,713)
固定資産計	1,010,506	純資産の部合計	1,005,293
資産の部合計	1,260,819	負債・純資産の部合計	1,260,819

御殿場アドナイ館 平成24年度決算報告

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	10,426
現金預金	1,678	固定負債	84,107
未収金他	6,818	負債の部合計	94,533
流動資産計	8,496	総資産の部	
固定資産		基本金	137,257
土地	224,075	国庫補助金等特別積立金	111,778
建物		その他の積立金	15,800
その他の固定資産	61,828	次期繰越活動差額	-64,969
		(内当期活動収支差額)	(-3,760)
固定資産計	285,903	純資産の部合計	199,866
資産の部合計	294,399	負債・純資産の部合計	294,399

適 要	金 額
介護保険収入(含利用料)	721,400
その他	41,871
事業活動収入	763,271
人件費支出	551,332
経費	187,989
利用者負担軽減	1,817
減価償却費	40,940
その他	-32,361
事業活動支出	749,717
事業活動収支差額	13,554
事業活動外収支差額	-95
特別収支差額	-8,746
当期事業活動収支差額	4,713

適 要	金 額
利用者等利用料収入	34,504
補助金収入	16,426
その他	57
事業活動収入	50,987
人件費支出	17,714
経費	24,614
減価償却費	14,355
その他	-8,784
事業活動支出	47,899
事業活動収支差額	3,088
事業活動外収支差額	-248
特別収支差額	-6,600
当期事業活動収支差額	-3,760

収入(献金)の部		支出の部	
現金	1,187,640	振込手数料	3,370
(62件)		印刷代	519,120
振込	1,254,500	郵送料	128,090
(34件)		消耗品費	18,900
		借入金償還等	1,772,660
合計(114件)	2,442,140	合計	2,442,140



昨年度も多大なご寄付ありがとうございました。

献金下さった方々

敬称は略させていただきます

4月分

日本キリスト教団仙川教会、
福島正昭、鈴木艶子、上野忠
昭、山崎れい子、鈴木きよ子、
深沢婦人会

5月分

須崎トシコ、伊倉廣司、岩本
教会、有満君子、富士社会教
育センター

6月分

西村正子、小野桂子、安藤文
知子、山崎れい子、大村浩幸、
澤田龍子、北久原区地域づく
り活動推進委員会、石渡理
子



協力ボランティア

敬称は略させていただきます

4月

レインポーハート、なでしこ会、
市婦連福祉グループ、厚生年
金婦人会、若葉会、芹澤菊枝、
中里京子、みくりや友の会、只
野あつ子、沓間昭子、福島正
昭、福島桂子、市野はつ、ビュ
ーサロン山田、印野はざま
の会、アドナイ館、春風一路、貢
宝会、御殿場教会、中垣内紀
子、赤十字奉仕団、加藤正代、
中曽根靖枝、勝又町子、菅原
幸和、鈴の会、杉の子大正琴、
隆生会、春の会、勝又えつ、重
野美恵子、井沼千代

5月

市野はつ、厚生年金婦人会、み
くりや友の会、中里京子、ビュ
ー

御殿場十字の園へのご寄付

4月分	7件	45,000円
5月分	5件	74,000円
6月分	8件	66,000円

4~6月分
合計20件 185,000円

ご献金、ご献品心より
感謝申し上げます。

郵便振替口座

口座番号 00870-9-190162

口座名称

社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙を
お送りいたします。

ーティーサロン山田、ナカノ美容
室、芹澤菊枝、勝又町子、中垣
内紀子、渡辺弘子、静岡県動
物保護協会、動物ボランティア、
玉穂婦人会、アドナイ館、不
聖心中学生、AKI美容室、
高橋文夫、御殿場教会、斉藤
淑子、赤十字奉仕団、弥生会、
東山婦人会、加藤正代、中曾
根靖枝、琴音会、鈴の会、市婦
連福祉グループ、母親クラブ、
隆生会、クレル美容室、富士社
会教育センター、佐藤由紀、佐
藤容子、山本淳子、重野美枝
子、井沼千代、高根婦人会、
OB会、勝又えつ、菅原幸和、
春風一路

玉穂婦人会、みくりや友の会、
レインポーハート、中里京子、川
波俊明、市野はつ、しょうえい
幼稚園、厚生年金婦人会、中
垣内紀子、AKI美容室、な
でしこ会、加藤正代、中曽根靖
枝、関根保子、深沢婦人会、不
二聖心中学生、貢宝会、御殿
場教会、神保久美子、赤十字
奉仕団、隆生会、ふじかわ健グ
ループ、若葉会、アドナイ館、春
風一路、鈴の会、資生堂リハビリ

6月

新型キャラバン購ハ



七月八日、御殿場ライサービスセンターに日産キャラバンが納
車されました。今年三月下旬に十六年運用してきた送迎車の代
替車両として入札にて導入が決定されました。
車両発注がされてから介護用途への改造が開始されるため、
特殊設備(主としてリフト)の取り付け、安全確認等に二か月から
三か月必要となります。今回その三か月を引退間近の送迎車
が満身創痍で一三六、〇〇〇キロを走り切ってくれました。
この新しい日産キャラバンも未永く役立つてくれることを願
います。

あとがき

この季節の風物詩として、
『土用の丑』という言葉と共に
誰もが高嶺の花となつて久し
い、『鰻』を思い浮かべます。こ
の二つを連鎖として日本人の
頭脳に植え付けたのは天才・
平賀源内。

夏場の売り上げ不振に悩
んだ鰻屋に請われ、万葉集の
大伴家持の句から「本日本土用
丑の日」と書いて掲げさせ江
戸中の鰻屋を大繁盛させた
と言います。数多のCMが消え
ていく中、この日本最初のキャ
ッチコピーは二十一世紀にも生
き続けています。

ふと思う夏の風物と共に、
この機関誌をお手元に。

(やまもと)